

あとがき

茲に漸く地域研究の第三報を出すに當りて、昨年の春以来ノケ年にわたる数々の体験を顧みながら、さまざまの感懐がうずきくのを覚える。

過去二ヶ年の調査対象を山村(英作)・山村(備前)に選んだので、本年は備前地区の何れかの平地農村に注目し、現地調査の経験をもたない学生にとっては、調査対象地の選定は重要な事件であった。その調査地がその地域での一般性をなるべく多くもっていること、調査が比較的順調に行われやすいこと、興味と関心を覚えるような問題点が存すること、土地の人々からの暖かい協力が得られること、更には宿泊の便宜など、かずかずの条件をなるべく多く充たすものとして、われわれは数回の予備的な交渉・調査の結果、浅口郡給穂町を選定した。地方きつての文化人の町長吉田宗一氏の積極的な御協力、熱意をもってこまやかなお世話を約束して下さった教育長兼信清氏、このような方々を得てわれわれは全く艱難に象った安堵を覚えた。加うるに、この地区の生産構造・社会構造には、日本近代史を解く一つの重要な素材が包含されているようであるし、また戦後の町村合併のもつきひしい現実が、ここに最も端的・集中的に表現されて

いるようでもあった。吉田町長さんの家蔵史料をはじめとして、かなりの村方史料が所蔵していることも、調査に深みをさえるものとして期待された。

さて給穂の調査に参加した十数名の学生は、上述のごとく現地調査の経験はもちろんで、地域調査に関する基礎的な訓練をもちつてうけたことがなかった者達であった。この学生達の直接指導の任に当たったのは、古屋野・石田・谷口の三教官であったが、幸にノケ年のインド滞在より帰国されたこの頃のベテラン古屋野教官が、基礎的訓練はもとより現地調査の中心的事務に当たったために、今回の研究計画が極めて効果的なものとなったと信ずる。

しかしながら、現地調査を直めて行く過程には、予期しないさまざまの困難が伴ない、調査資料の整理・分析から執筆・編集にかけては、これまたもろもろの矛盾と障害たぶつかった。一つの地域を多人数で共同調査して、それを一つの成果に総合化することの至難さをいやが上にも味わされたが、それはそれとしてすべてが貴重な學問的体験として、学生諸君にはうけとめられたであろう。この地域研究の最大の目的は、その成果の如何よりむしろ如上の學問的体験を広く深く体得することにあつたから、今にして思えばその目的はほぼ達成されたといえようか。

ともかく、このような成果が難産の

うちに産れ出た。われわれにとっては
個々の内容とその一貫性において、満
たされない多くのものを認めるにして
もどの頁をめぐっても今となっては限
りない学問的な鬱鬱にかられるものば
かりである。地元の方々との短くとも
深い結びつき、互助と信頼、これがこ
の乏しき作品を貫く生命である。さま
ざまの立場にある同学の士から、忌憚
のない御批判・御高教を賜わることによ
って、われわれはより以上のものを
産み出す力を身につけたい念願に満ち

れている。そして来年、来々年と続け
られる地域研究を、より一層立派な
ものに成長させてゆきたいものである。
最後に、この調査に当たって絶大な
御協力と御厚情を賜わった吉田町長と
始めとする町当局の方々、兼信教育課
ほか教委・学校教職員各位、その他、
年田・婦人会の方々、資料提供を惜し
まれなかった方々に対して、調査員一
同から深甚の謝意を表するとともに、
この小作品を捧げたいと思う。

分類	611.9	0	登録	19214
----	-------	---	----	-------

・ソ-030

読
み
ま
し
よ
う
!!!

- ▽ 読書の前後によく手を洗い
- ▽ 指をなめずに頁を開き
- ▽ 書物表紙を巻き返さず
- ▽ 落書や折目のあともなく
- ▽ いつも気持よく

皆
さ
ん
!!

岡山大学教育学部